

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2 年 3 月 1 日

事業所名 のびっこらんど原町

職員数 5 名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		活動内容により手狭になる時は臨機応変にスペース確保の為、物を移動し対応しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		バリアフリー構造、多目的トイレが整備されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		法人でISO認証を受けている施設があるため、水平展開を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		評価の他、アンケートを実施しサービス提供に関する意見の把握に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		昨年度より実施しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	第三者評価は実施してませんが、第三者委員による業務改善への取り組みを行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		毎月事業所内でスキルアップの研修を実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		アセスメント技術の向上に努め、計画内容の充実に努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		事業所内で全スタッフが実施可能なアセスメントツールを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		スタッフ間でアイデアを出しあい決定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		支援目標に沿って検討しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		季節に応じた課題設定を心がけています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		保護者様のニーズと共にお子様にあった活動形態を検討し実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		朝の打ち合わせを実施し、確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		支援終了後には活動の振り返りやお子さんの様子の情報共有を行い支援に役立てています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		利用ごとに様子の記録を行っています。	
関	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		最低半年に1度のモニタリング、計画見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5		個々人に応じて組み合わせ支援を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	管理者だけでなく、担当者も参加できるように配慮しています。	関係者が顔を合わせる機会をもっと増やしていきたいと思ひます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		担当教諭より情報をもらい送迎等に支障が出ないようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-		現在医療ケア等が必要なお子さんがいない為、連絡体制は整っていませんが、受け入れる際には連絡体制を整え、個別支援計画に盛り込む等必要な対応を取って行きます。

係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		未就学時期からの利用が多い事から幼稚園・保育園等との連携は図れ、情報の共有が行われています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			対象になるお子さんが現在までおりませんでした。小学校入学や幼稚園の転園の時には情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		他事業所、療育センターなど個別ケースごとに連携を図り支援につなげています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5		今後、要望や必要性がある場合には企画、実施していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		月1回開催される部会へ参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		家庭での様子などもお聞きし情報の伝達漏れがないように配慮しながら共通理解を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	スタッフが研修に参加し、個別のアドバイスを実施しています。	ペアレントプログラムやトレーニングの研修についてお知らせしていきます。事業所内でも勉強会の開催を予定していきます。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		契約時にお時間をいただき説明させていただきます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		随時、相談等の受付を行っております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	父母の会、保護者会の活動は実施していませんが、保護者同士が交流できる機会を設けております。	頻度や支援内容をより充実させていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		契約時に苦情解決委員や第三者委員会の説明をしています。また、苦情解決箱も設置しています。苦情処理についての対応は法人内でルール化されています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		ホームページで活動の様子をお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5		内部研修などにより、職員間での意識が高まるようにしています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		絵カード等の利用を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		事業所開放日を設定し、地域の方が遊びに来れるようにしています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		マニュアルについては、年1回配布しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		年2回、避難訓練を実施する週を設け、利用児全員が参加出来るようにしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		内部研修や自己チェックを実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			法人では対応についてルール化されていますが、事業所としては身体拘束の必要性を感じる場面がなく、現在までに実施した事はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		保護者様からの聞き取りを実施しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		事例集を作成し、会議でも振り返りを実施しています。	